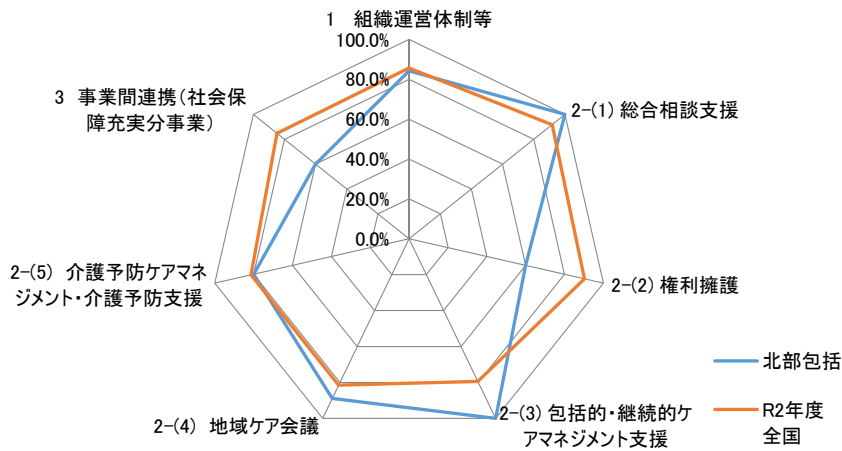


図：瑞浪北部地域包括支援センターの取組状況（全国平均との比較）



	瑞浪北部 地域包括支援センター	R2年度実績 全国（センター）	(参考)R元年度実績 全国（センター）
1 1 組織運営体制等	84.2%	85.6%	84.2%
2 2-(1) 総合相談支援	100.0%	91.8%	90.8%
3 2-(2) 権利擁護	60.0%	90.3%	89.2%
4 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	100.0%	79.4%	80.9%
5 2-(4) 地域ケア会議	88.9%	81.5%	82.5%
6 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	80.0%	81.4%	79.5%
7 3 事業間連携（社会保障充実分事業）	60.0%	84.8%	89.3%

各事業評価結果に対する自己評価及び課題等

1 総合相談

相談総件数1425件のうち、介護保険関係が50%・医療関係が13%・認知症関係が7%でしたが、障害者・生活保護・機器の故障や手紙の確認等幅広い内容の相談がありました。各関係機関との連携はスムーズに行えておりますが、支援困難なケースへの対応に苦慮します。コロナ禍の影響として、遠方の家族が帰省して支援できない・友人との交流がなくなった等の相談が増えつつあります。

2. 権利擁護支援

認知症のひとり暮らし高齢者の金銭管理について2件・身体的虐待が2件・経済的虐待が1件ありました。市に報告し協力して対応しました。金銭管理の問題については、成年後見制度の利用や病院受診に本人の同意が得られず長期化しているのが現状です。消費者被害について対応した事例はありません。

3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援

土岐・瑞浪ケアマネ連絡協議会で研修会1回・アンケート集計1回実施し、瑞浪主任ケアマネ連絡会ではほぼ毎月1回事例検討や勉強会を実施しました。コロナ禍の対応や困難事例等に不安を抱えるケアマネが多いため、WEBを活用する等して相談や情報共有できる機会を増やす必要があると思います。センターに相談するケアマネは増えつつあります。

4. 地域ケア会議

個別事例について検討する会議を4回実施し、自立支援・重度化防止等に資する会議を3回行いました。課題解決のために多職種で意見を出すことにより、方向性を見出すことができている。経験したケアマネからは良い反応があるため今後回数を増やしたいと思います。

5. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

各居宅介護支援事業所に委託しているプランの内容確認が不十分でした。令和3年度よりケアマネとの対話により内容を確認する機会を増やします。プラン作成依頼の事業所選定は、利用者が自ら選ぶことを基本とし、委任される場合は偏ることのないよう順番に依頼します。

6. 事業間連携（社会保障充実分事業）

医療関係者との交流・研修はかなわない状況でした。
生活支援コーディネーターとの会議は定期的に行い、協議体設置に向けて住民との勉強会が予定されていましたが中止となってしまいました。